

令和4年度 研修部運営計画

①運営方針

- 関係機関と連携を図りながら、教育現場の要望を生かした研修講座を企画し、管内教職員の資質向上を図る。
- 留萌管内教育調査研究事業実行委員会が主催する教育講演会に参画し、管内教職員の研修の機会を広げる。
- 所員研修を計画的に進め、研究交流に生かすとともに、研究員の実践力向上に役立てる。

②業務内容

ア 研修講座

○目的

- ・管内教職員に研修及び研究の機会を設け、教育実践の交流に努めることによって、管内教職員の資質向上を図る。

○内容

- ・教職員個々の資質向上をめざした研修講座。
- ・教育現場の抱える課題や教育の今日的な課題の解明をめざした研修講座。
- ・研修講座の概要を所報等で紹介する。

【研修講座開催予定】

表題	月日	場所	内容
第1回研修講座 (オンライン① ミドルリーダー資質向上)	5/26 (木)	Zoom	・初任段階教諭の悩みに対する助言、指導について ・指導側(コーチ)としての心構え
第2回研修講座 (道研地域連携共同企画 支援研修)	6・7月予定 (木)	Zoom	・「特別の教科 道徳」の授業づくり ・キャリア教育の実際
第3回研修講座 (オンライン② 保健指導(仮))	7月末予定	Zoom	・日常的な保健指導の実際について
第4回研修講座 (道研地域連携共同企画 支援研修)	8月予定 (火)	Zoom	・生徒指導の機能を生かした学級経営
第5回研修講座 (オンライン③ 個別最適な学び・協働的な学びの実際)	10月 予定	Zoom	・個別最適な学び、協働的な学びの実際
第6回研修講座 (オンライン④ オンライン授業の進め方 (実践編))	11月～12 月予定	Zoom	・ICTを活用したオンライン、ハイブリッド授業の進め方

※新型コロナウイルス感染症の状況次第により、中止または延期の可能性があります。

イ 所内ゼミナール

○目的

- ・教育の今日的な課題等について、所員による研修の機会を設け、相互の資質向上と交流を図る。

○内容

- ・所員が参加した研究会や講習会等の内容を還流する。
- ・所員が今まで取り組んできた研究や授業、勤務校での研究や授業等について、その成果や課題に

についての報告や、意見交流を図る。

- ・担当者と時期については所員にアンケートをとって決定する。

ウ 研究会・研修会への参加

○目的

- ・全教連・道研連・道研・各種研究団体等が主催する研修会への参加を通し、所員研修の一層の充実をめざす。

○内容

- ・全教連・道研連が主催する研修会，道研夏季所員研修会への参加調整。
- ・全国・全道規模の研究会への参加調整。

③月別業務推進計画

月	業務内容
4	年間運営計画作成 各研修講座の日程調整 所内ゼミナールの準備・日程調整 第1回研修講座（留研：オンライン①）準備 第2回研修講座（留研：道研地域連携）の準備
5	所内ゼミナール①の実施 第1回研修講座（留研：オンライン①）準備・実施
6	所内ゼミナール②の実施 第2回研修講座（道研地域連携：オンライン②）の実施
7	1学期の業務反省と2学期の展望 第3回研修講座（留研：オンライン③）の準備・実施 所内ゼミナール③の実施
8	第4回研修講座（道研地域連携：オンライン④）の準備・実施 第5回研修講座（留研：オンライン⑤）の準備
9	所内ゼミナール④の実施 第6回研修講座（留研：オンライン⑥）の準備
10	所内ゼミナール⑤の実施 第5回研修講座（留研：オンライン⑤）の実施 第6回研修講座（留研：オンライン⑥）の準備
11	第6回研修講座（留研：オンライン⑥）の実施 所内ゼミナール⑥の実施
12	2学期の業務反省と3学期の展望 所内ゼミナール⑦の実施
1	年間の業務反省と次年度の展望 所内ゼミナール⑧の実施
2	年間の業務反省と次年度の展望 所内ゼミナール⑨の実施
3	次年度運営計画，研修講座決定

エ. 留萌管内教育研究所ホームページの更新

- ・ホームページの更新を行い，研究所の各部活動や，管内各学校や教育関係機関，教育研究団体等へ紹介する。